

平成 23 年度手法開発の内容

① 持久的誘引餌の開発

10 月中に、ツキノワグマが頻繁に出没する巴岳山頂付近に誘引餌を設置し、自動撮影カメラでツキノワグマ及びニホンジカの誘引状況を確認する。

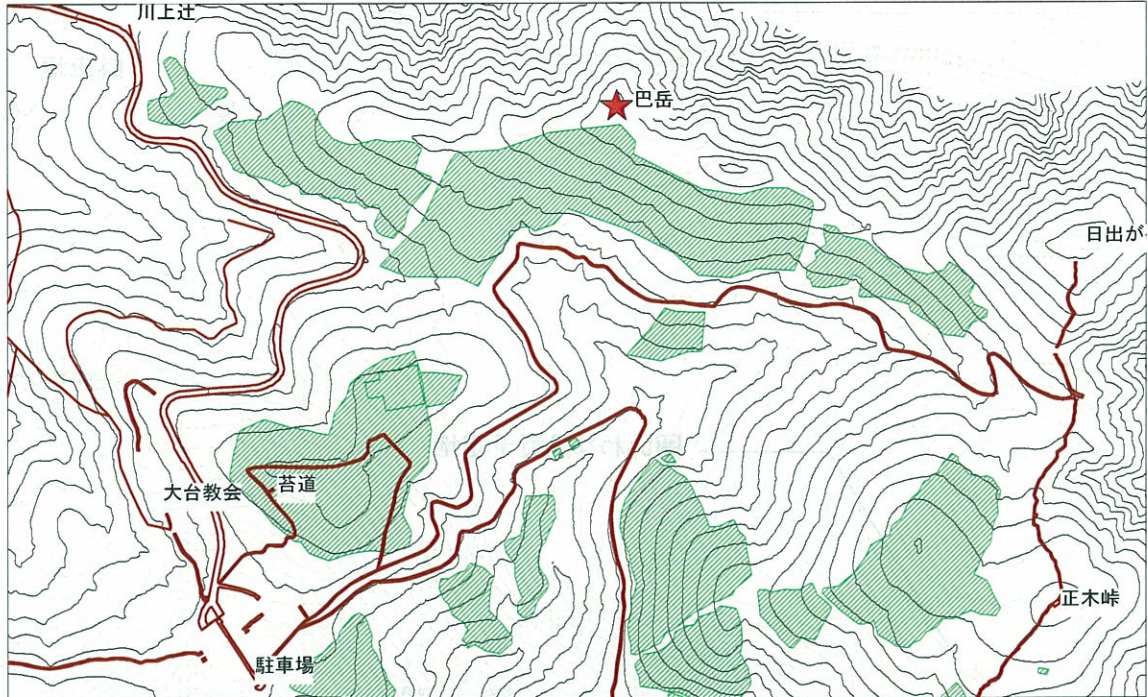


図 1 ツキノワグマへの誘引効果の確認地点 (地点★)

②中型囲いわなによる捕獲方法の開発

10月中旬に10m四方の囲いわなを図2の場所に設置し、約1ヶ月程度ヘイキューブによる誘引を行いながらシカへのわなに対する慣らしを行う。昼間のみ作業により、夜間における警戒心は抱かせないようにする。

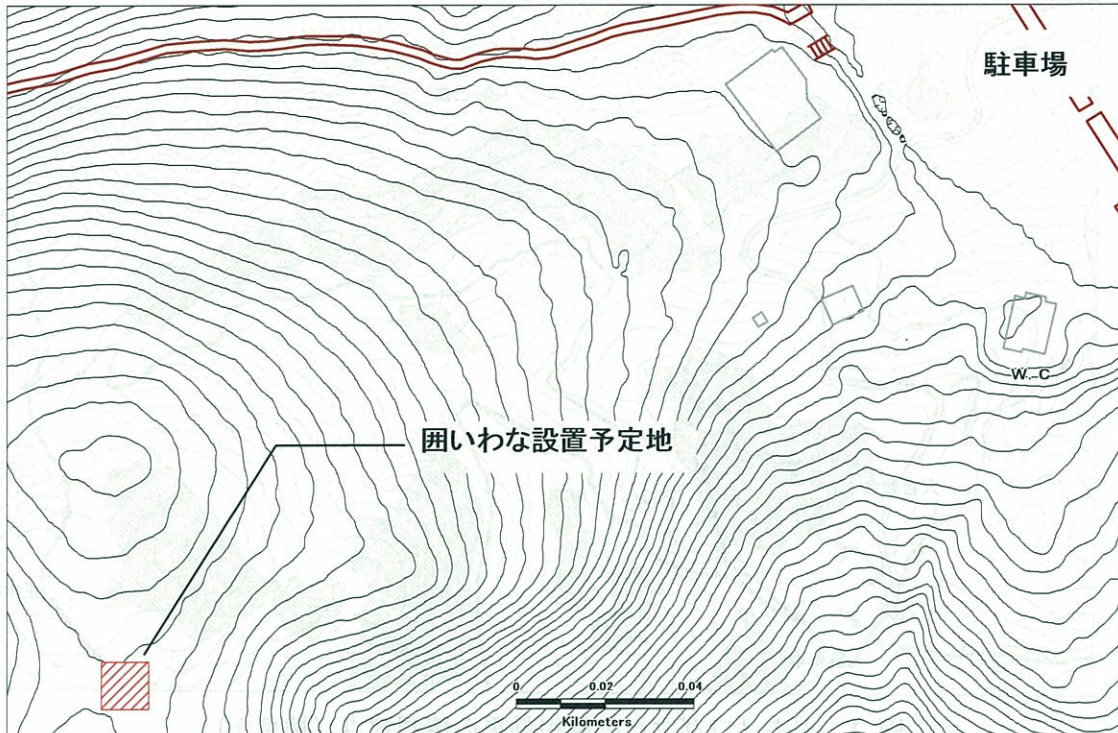


図2 囲いわな設置予定地

AIセンサー、自動撮影暗視カメラ等を利用し、定期的に出現するニホンジカの最大頭数を確認し、それらをなるべく漏らさぬよう捕獲する。



図3 囲いわなのタイプ